

自由研究発表

インドネシアの Integrated Islamic School における一般知と宗教知の融合
—現代イスラーム世界における知識をめぐる議論に着目して—

Integration of General and Religious Knowledge in Integrated Islamic Schools in
Indonesia: Focusing on the Discourse Surrounding Knowledge in the Contemporary
Islamic World

アズミ・ムクリサフ (名古屋大学・院生)

Azmi Mukhlisah (Graduate Student, Nagoya University)

Integrated Islamic School (以下 IIS) は、教育文化省管轄下にあるイスラーム系の私立学校である。1990 年代初頭に設立された 5 つの小学校から始まった IIS は、その後、中学校、高等学校、幼稚園も設立し、量的にも拡大した。2022 年 9 月の時点で、統括組織の一つである「IIS ネットワーク」に加盟した学校数は、2544 校に上る。

IIS の名称における Integrated には、一般教科と宗教教科の融合という意味があり、先行研究においても IIS は一般知と宗教知を融合したカリキュラムを作成した学校として言及されている (Hasan 2012 等)。アズミ (2021) は、IIS の取り組みの背景には、一般知と宗教知が分離して教えられるインドネシアの二元的な教育に対する批判があると指摘し、IIS がそれを解決するために具体的にどのようなカリキュラムを創案し、教育実践を行っているかを明らかにした。また、二元的な教育は、インドネシア固有の課題ではなく、現代イスラーム諸国に共通している課題であるとし、具体例として 1977 年に開催された第 1 回ムスリム教育世界会議で議論された内容を言及した。しかし、アズミ (2021) は IIS が同会議で指摘された課題のどの点を解決し、またどの点において新規性や独自性がみられるかを明らかにしていない。そこで、本発表では、ムスリム教育世界会議の議論の論点を個別に整理した上で、上述した点を明らかにする。

分析の結果、IIS はムスリム教育世界会議で主張された一般知と宗教知を融合させた教育制度の創設が実現されていないインドネシアの中で、独自に知の分離を克服しようとしていることが明らかになった。しかしながら、IIS は自らを国家の教育制度から切り離れたわけではなく、国が定めた世俗的なカリキュラムを使用しながらも、それを補う形で宗教知を融合させた。管見の限り、IIS のように民間が国家の枠組みに沿いながらも知の融合を図ろうとする学校はなく、この点において IIS の取り組みは先進的な取り組みであるといえる。

Hasan, Noorhaidi (2012) Education, Young Islamists and Integrated Islamic Schools in Indonesia, *Studia Islamika*, 19 (1), pp.77-111

アズミ・ムクリサフ (2021) 「インドネシアのイスラーム系私立学校 “Integrated Islamic School” における知の融合: 宗教知と一般知の二分法の克服」『比較教育学研究』62 号、132-154 頁